

田中秀毅（2016年度日本英語学会賞（著書）受賞）

このたびは拙著『英語と日本語における数量表現と関係節の解釈に関する記述的・理論的研究』（開拓社，2015年）に対して日本英語学会賞（著書）をいただき、たいへん光栄に存じます。選考委員と事務局の先生方には、貴重な時間を選考に充ててくださり心よりお礼申し上げます。拙著は、2014年に筑波大学に提出した学位論文に基づいています。加賀信広先生をはじめとする学位論文審査委員の先生方にあらためて感謝申し上げます。

拙著では、数量詞や類別詞をともなう数詞などが関係節の環境に生じたときの統語的振る舞いや意味解釈について考察しました。部分構造制約に違反しているようにみえる例や、本来は省略できないはずの類別詞が省略できるなど、通常の前測に反するデータが少なからず見つかりました。この現象を扱った文献はかなり限定的だったため、まずは言語データの収集とその詳細な記述を心がけ、そのうえで理論的説明を試みました。具体的には、日英語における部分・全体の関係を3つに分類し、関係節や数量詞遊離文の環境に部分構造が生じた場合にどのタイプの部分・全体の関係が許されるのか、またその理由について考察しました。

拙著が評価していただけたのは、ご指導くださった先生方、インフォーマント調査に協力してくださった先生方、さらに励ましてくださった学友のみなさんのおかげです。とりわけ、大学院で言語研究の取り組み方をご教示くださった中右実先生、故・原口庄輔先生、廣瀬幸生先生、藤原保明先生、加賀信広先生の影響は計り知れません。また、インフォーマント調査で示唆に富んだフィードバックをいただけたのも幸いでした。忍耐強く協力してくださったインフォーマントの先生方には心から感謝しております。

今回の受賞を励みにして、これからも地道に研究を進めていく所存です。このたびは身に余る栄誉をたまわり誠にありがとうございました。